

「阿下喜楽」に取り組んでいる6年生。11月中旬からは、「聞き取り」「現地調査」のため、毎週のように校外に出かけている。▼子どもたちは目的に合わせて、「何のために」「どこへ」を考えていく。商店街のお店に聞き取りに出かけようとしているグループは、その相談のため、校長室に来てくれる。作戦会議が終わると、行動開始！まずは、先方に電話をかける。「阿下喜小学校の〇〇です。〇〇さんの電話番号で合っていますか？」から始まって、約束を取り付ける▼たどたどしいのは仕方がないが、一生懸命「今」と向き合っている。6年生が出かけられる日時は決まっているため、先方と予定が合わないこともある。どうしても話が聞きたいので、放課後に約束するグループもある▼教師は、簡単なフォローをしているが、多くのプロセスは子どもに任せている。そのことで、先方にご迷惑をかけてしまったり、ご心配をかけてしまったりすることもある。そんな失敗を含めて、寛大に見守ってくださるみなさんの温かさに助けにいただいている▼阿下喜楽は「学びの道筋」を子どもたちが考えながら探求を進める。きれいな「成果」は求めないが「学んだ道筋」は明らかにさせたいと考えている。ここに大切な学びがある▼「学んだ道筋」と「集めた事実」をどう使ってまとめるのか、これこそ子どもが決めること。おっ！また誰かが相談に来てくれた。